

アジアビーチリゾートの土地利用およびアクティビティの比較考察



AH15077 山本 孝樹
指導教員 岩倉 成志

1. 背景・目的

沖縄県はわが国屈指のビーチリゾートとして知られており、美しいビーチや沖縄料理、琉球の伝統文化など他の地域にはない高い潜在力を持っていると考える。近年では外国人観光客も多く訪れているが、表1の内訳をみると、台湾、韓国、中国、香港の近隣諸国からの観光客が8割以上を占めており、欧米諸国など他地域からの入れ込み客数が少ないのが現状である。そこで本研究では、沖縄のビーチの美しさを知らない方々に観光に来てもらうための基礎研究として、アジアの人気ビーチリゾート周辺の宿泊施設、飲食、サービス等の集積状況を調査し、沖縄のビーチリゾートと比較することで、両者のビーチリゾートの土地利用やアクティビティにどのような差があるのかを明らかにすることを目的とする。

2. 対象地域

本研究では沖縄県で有数のビーチリゾート地である恩納村を調査対象とし、同村のライバルとなり得るアジアの人気ビーチリゾートを比較対象とする。なお、紙面の都合上、概要ではタイのプーケットについてのみ記載する。

土地利用については、両地域の繁華街である恩納村のムーンビーチ周辺とプーケットのバトンビーチ周辺を、ビーチの利用状況とアクティビティについては、全域での傾向把握と回遊性の観点から恩納村、プーケット島全体を対象とする。

3. 調査方法

GoogleMap や旅行ガイドブック(地球の歩き方, Lonely Planet)から得られる、宿泊施設や店舗等の観光商業施設に関する位置データを収集し、ArcGIS 上にプロットした。また、施設の種類のデータ収集には、Booking.com や TripAdvisor の掲載内容を利用した。アクティビティ調査では、旅行ガイドブックや観光協会のホームページに記載のある内容を利用した。

表1 外国人観光客数

		沖縄		プーケット	
		観光客数	割合	観光客数	割合
アジア	台湾	787,000	31.0%	61,240	0.7%
	韓国	523,300	20.6%	301,277	3.3%
	中国	504,000	19.8%	2,789,640	30.4%
	香港	256,900	10.1%	136,032	1.5%
アメリカ	アメリカ	26,500	1.0%	185,261	2.0%
	カナダ	10,800	0.4%	110,939	1.2%
ヨーロッパ	イギリス	10,600	0.4%	357,703	3.9%
	フランス	2,500	0.1%	249,762	2.7%
	ロシア	0.1%未満		880,185	9.6%
	ドイツ	0.1%未満		581,154	6.3%
オセアニア	オーストラリア	9,600	0.4%	520,886	5.7%
	その他	411,000	16.2%	2,998,680	32.7%

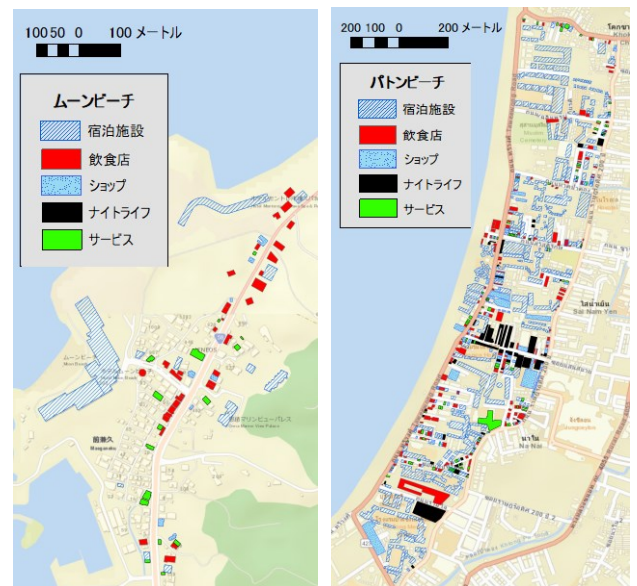


図1 土地利用地図

表2 土地利用概況

	ムーンビーチ	バトンビーチ
対象面積(m ²)	494,045	823,553
空地面積(m ²)	394,774	400,804
空地率(%)	80%	49%
店舗面積(m ²)	12,410	167,649
店舗密度(%)	3%	20%

4. 調査結果

4-1 ビーチの利用状況

恩納村ではプライベートビーチが主流でホテルから出ることなく海水浴やビーチアクティビティを楽しめる場所が多い一方、プーケットでは共用ビーチが主流で同じビーチに周辺ホテルから多くの観光客

が訪れている。

4-2 土地利用全般

土地利用を地図上にまとめたものを図1に、対象面積に対する空地面積や店舗面積の割合をまとめたものを表2に示す。ムーンビーチは宿泊施設や店舗が疎らに存在している一方で、パトンビーチは全てのエリアに対して集積している様子が見てとれる。

4-3 種類

図1で示した宿泊施設と店舗を種類別にまとめたものを図2に示す。両者には数量と種類のいずれにも大きな違いがあることが分かる。ムーンビーチの飲食店は特に偏りが大きく、自国料理(沖縄料理)を楽しむ店が大半となっている。また、店舗が少ないため、買い物で購入できる商品が限られている。パトンビーチは通常の店舗だけでなく、露店やブランド品も扱うショッピングモールも複数あった。更に、パトンビーチにはバーやクラブなどのナイトライフを楽しめる場所も充実していたが、ムーンビーチにはほとんど存在しなかった。

4-4 空間開放性

食事や買い物を楽しめる場所として壁のない開放的な空間を創出することは、人同士の交流が生まれやすく、歩いて楽しい賑やかな空間を創出できる。また、欧米人は日頃からオープンテラスでカフェや食事を楽しむ人が多いと言われている¹⁾。このようなことから、開放的な空間がどの程度存在するのかを GoogleStreetView を用いて各々の道路を目視で調査した。ムーンビーチではメインストリートである国道58号線沿いを含めた大半の街路において壁や扉で仕切られた店舗であった一方、パトンビーチはビーチ沿いの通りや繁華街を中心に図3のような道路から店舗内がよく見える開放的な空間が広範囲に広がっており、エリア内の道路総延長の33%であった。

4-5 アクティビティ

ビーチアクティビティについては、表3-1のように海の透明度の高い恩納村では、海中に潜るアクティビティが盛んにおこなわれていた。次に、ビーチ以外のアクティビティについてまとめたものが表3-2である。山や川で行うフィールドアクティビティは恩納村もプーケットもおこなわれているが、遊園地や動物園といったエンターテインメント性の高い施設はプーケットにしか存在しなかった。

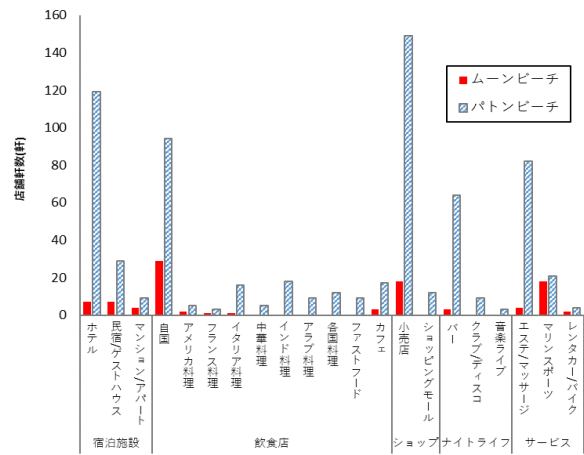


図2 店舗種類一覧

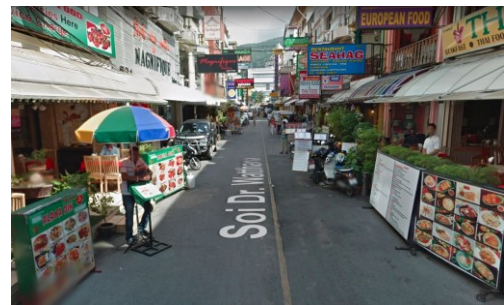


図3 開放空間イメージ画像 (GoogleStreetViewより)

表3-1 ビーチアクティビティ一覧

行動	場所	恩納村	プーケット	例
飛行	海上	○	○	パラセーリング、フライボード
鑑賞	海上	○	○	カヌー、クルーズ、ホエールウォッチング、SUP
	海中	○	○	ダイビング、シュノーケリング
絶叫	海上	○	○	バナナボート、ウェイクボード、水上スキー
	陸上/海上	○	○	釣り
	海上	○	○	サーフィン

表3-2 その他アクティビティ一覧

アクティビティ	恩納村	プーケット
ゴルフ	○	○
カヌー/カヤック	○	○
ラフティング	○	○
サイクリング	○	○
乗馬	○	○
クライミング	○	○
バーベキュー	○	○
農業体験	○	○
工芸体験	○	○
文化体験	○	○
博物館	○	○
美術館		○
遊園地		○
動物園		○
水族館		○
映画		○

5. まとめ

- ・ 宿泊施設/店舗の数と種類に大きな差があった
- ・ パトンビーチには開放的な空間が広がっていた
- ・ ビーチアクティビティは恩納村が、エンターテインメント性の高い施設はプーケットが充実していた

参考文献

1) 井上岳・鈴木美央・ホルヘルマザン(2013), 街路沿いのオープンテラスにおける空間的特徴および利用実態の研究—代官山・有楽町を事例として—, 日本建築学会技術報告集 19巻, 42号